

瘠我慢の説

書簡

福沢諭吉

青空文庫

福沢先生の手簡

はいけいつかまつりそうろうのぶれ
拜啓 仕 候 陳ば過日 瘠我慢之説 と題したる草稿

一冊を呈し候。或は御一読も被成下候哉。其節申上

候通り、何れ是は時節を見計、世に公にする積に候得共、

尚熟考 仕 候 に、書中或は事実の間違は有之間敷哉、

又は立論之旨に付御意見は有之間敷哉、若しこれあらば無

御伏臈 被仰聞 被下度、小生の本心は漫に他を攻撃して楽

しむものにあらず、唯多年来心に釈然たらざるものを記し

て輿論に質し、天下後世の爲めにせんとするまでの事なれば、当

局の御本人に於ておい云々の御説もあらばはいし拝承致し度、何卒
おんもら御漏し奉願候。要用のみ重て申上候。匆々頓首。

二月五日

諭吉

………様

尚以彼の草稿なまつては極秘そうこうに致し置、今日に至るまで二、三親友の

外へは誰れにも見せ不申候。是亦乍序申上候。

以上。

勝安芳氏の答書

いにしえよりとうろしや
 従古当路者古今一世之人物にあらざれば、衆賢之批
 評に当る者あらず。不計も拙老先年之行為に於て御議論数
 百言御指摘、実に慙愧に不堪」の注記」ず、御深志忝存候。
 こうぞう
 行蔵は我に存す、毀誉は他人の主張、我に与からず我に関せ
 ずと存候。各人へ御示御座候とも毛頭異存無之候。御差
 越之御草稿は拝受いたし度、御許容可被下候也。

二月六日

安芳

福沢先生

拙、せつ此程より所^{このほど}勞^{しよろう}平臥^{へいがちゆう}中、筆を採^とるに懶^{ものう}く、乱筆蒙^{らん}御^{ごかいよ}

海容^{うをこうむりをくろう}度候。

榎本武揚氏の答書

拜復。過日御示被下候貴著瘡我慢中、事實相違之廉並
おしめし くださねうろう
 に小生之所見もあらば云々との御意致拝承候。昨今別
しょうせいのしよけん つき
 而多忙に付いずれ其中愚見可申述候。先は不取敢回
つしてたぼう
 音んかくのごとく此に候也。

二月五日

武揚

福沢諭吉様

青空文庫情報

底本：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」講談社学術文庫、講談社

1985（昭和60）年3月10日第1刷発行

1998（平成10）年2月20日第10刷発行

底本の親本：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」時事新報社

1901（明治34）年5月2日発行

初出：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」時事新報社

1901（明治34）年5月2日発行

※副題の「書簡」は、このファイル作成時に付けたものです。

※誤り箇所は底本の親本にて確認しました。

※「福沢先生の手簡」の末尾、「申上候《もうしあげそうろう》
以上。」は、底本の親本では、「申上候也。」となっています。

入力・kazuishi

校正：田中哲郎

2006年11月7日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

説の我慢我瘠

書簡

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫
著者 福沢諭吉
URL <http://www.aozora.gr.jp/>
E-Mail info@aozora.gr.jp
作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU
URL <http://aozora.xisang.top/>
BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>